

— すきむらんどニュース —
入浴料が半額以下！「かじかの湯フェス」

日頃から、すきむらんど温泉「かじかの湯」を利用いただきありがとうございます。

今年1月末ごろから、温泉設備の故障や営業自粛などで、利用者皆さまには大変ご不便をおかけしていましたが、4月末に温泉設備の復旧が完了し、現在、通常通りの営業を再開しています。

休業のお詫びと、変わらぬご支援への感謝を込め、入浴料を半額以下とする「かじかの湯フェス」を開催します。気軽に温泉を楽しめる機会

となるように、温泉グッズの特別価格販売やお楽しみ企画など、期間中はさまざまな内容を用意しています。

今後も安心・安全を第一に、気持ちよく利用できる温泉施設の運営に努めます。

引き続き、かじかの湯をよろしくお願ひします。

「かじかの湯フェス」

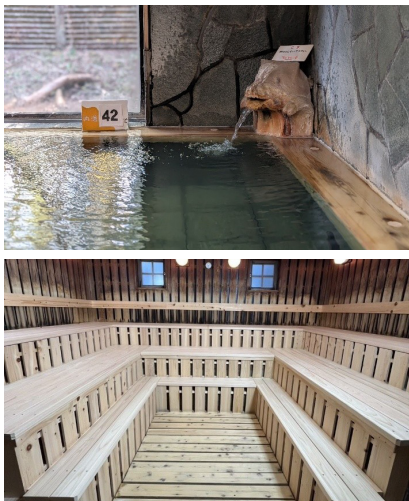
◆期間 6月14日(日曜)

6月28日(日曜)

◆入浴料(小学生以上)

200円

※未就学児は無料です



すきむらんど
【(株) BRIDGE the gap】

住所：小林市須木下田 356 番地 1
Tel 48-2480

◀すきむらんど ホームページ
▶すきむらんど instaglam



■かじかの湯 10時～21時 第2・4木曜定休

福祉情報をお届けします

社協タイムズ

地域や学校で「福祉の心を育てる」

社会福祉協議会は福祉教育を推進しています

福祉教育とは、車いす体験などの単なる体験学習ではありません。身近な課題に気づき、多様な人が共に生きていく方法を学ぶ取り組みです。その目的は、自分たちの地域を思い、他者に心を向け、共に生きる心を育てること。

小林市は県内でも福祉教育に取り組む学校がとて多いまちです。学校では、子どもたちの心を柔らかく耕し、福祉の種を植えることを大切にしています。「なぜ？」と自ら考え行動する力や全ての命の尊さに気付く心を育てています。この学びを地域に広げるため、ボランティア

や地区活動の支援も行っています。福祉教育はまさに地域福祉そのもの。子どもから大人まで、世代を超えた支え合いの輪を広げることが誰もが安心して暮らせるまちづくりにつながります。

福祉とは、

ふだんの くらしの しあわせ

一人ひとりが自分を大切にし、同じように他者も大切にする。そんな世界が広がるよう、今後も地域の幸せを願い福祉教育に取り組みます。

